

[E1-1] 遭遇チャート(1914年8月－1915年2月－北海での最初の攻撃)2d6を振る

この時期は、遭遇増加のサイ振りは不可。

巡洋艦ルール(拿捕規定)－Uボートは、浮上状態でのみ商船を攻撃しなければならない。

Qシップなし。この時期は爆雷使用不可。

サイ	移 送	イギリス諸島
2	機雷	防潜網
3	—	—
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	艦船
10	—	2艦船
11	—	主要艦
12	艦船	—

艦船サイズの判定： 1－5＝小型貨物船 6＝大型貨物船

[E1-2] 遭遇チャート(1915年5月－1915年9月－包囲下の英国)2d6を振る [14年8月から17年2月までオーストリア軍戦役についてこれを使用する]

イギリス諸島、イギリス海峡、地中海内で遭遇増加のサイ振りが認められる。

無制限潜水艦戦 Uボートは、潜航中に全ての船舶を攻撃できる。

ここから、Qシップがイギリス諸島周辺とイギリス海峡内で遭遇され得る。この時期に爆雷は不可。

サイ	移 送	イギリス諸島	イギリス海峡	地中海／アドリア海	黒海／エーゲ海
2	機雷	主要艦	主要艦	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	2艦船	2艦船	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	艦船＋護衛艦	艦船＋護衛艦	—	—
7	—	2艦船	2艦船	艦船	艦船
8	—	艦船	艦船	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	艦船＋護衛艦	艦船＋護衛艦	—	—
11	—	2艦船	2艦船	主要艦	主要艦
12	艦船	—	防潜網	—	—

艦船サイズの判定： 1－5＝小型貨物船 6＝大型貨物船

[E1-2] 遭遇チャート(1915年10月－1916年2月－ールシタニア号の余波)2d6を振る

この時期は、イギリス諸島とイギリス海峡内で遭遇増加のサイ振りは不可。遭遇増加ISは、地中海で認められる。

巡洋艦ルール(拿捕規定)－Uボートは、浮上状態でのみ商船を攻撃しなければならない。

Qシップがイギリス諸島周辺とイギリス海峡内で使用される。この時期に爆雷は不可。

サイ	移 送	イギリス諸島	イギリス海峡	地中海／アドリア海	黒海／エーゲ海
2	機雷	—	防潜網	主要艦	主要艦
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	2艦船	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	艦船	—
7	—	—	—	2艦船	艦船
8	—	—	—	艦船	—
9	—	—	—	—	—
10	—	艦船	艦船	艦船	—
11	—	2艦船	2艦船	2艦船	—
12	艦船	主要艦	主要艦	—	—

艦船サイズの判定： 1－5＝小型貨物船 6＝大型貨物船